

令和8年度兵庫教育大学教員研修プログラムシラバス

講習ID	26017				
講習名	知っておきたい！防災教育の基礎知識－水害と地震、学校の危機管理－				
講習活用区分	<input type="radio"/> 自主研修	<input type="radio"/> 中堅教諭等資質向上研修（兵庫県、神戸市、堺市）			
	<input type="radio"/> 兵庫県15年研・20年研等				
実施日時	令和8年8月7日(金)	10:00～17:00	振替対応	無	
募集人数	20人	最小開講人数	15人		
実施形態・会場	対面型				
	人と防災未来センター		教室	東館6階第1会議室	
対象校種	<input type="radio"/> 保育士	<input type="radio"/> 幼稚園教諭	<input type="radio"/> 小学校教諭		
	<input type="radio"/> 中学校教諭	教科指定：無	<input type="radio"/> 高等学校教諭	教科指定：無	
	<input type="radio"/> 特別支援学校教諭	養護教諭	栄養教諭	その他対象：	
対象職位	<input type="radio"/> 若手	<input type="radio"/> 中堅	<input type="radio"/> ベテラン	<input type="radio"/> 学校管理職	<input type="radio"/> トップリーダー
担当講師	講師1	氏名：大野 哲之	所属：関西大学社会安全学部		
	講師2	氏名：里見 克彦	所属：神戸地方気象台		
	講師3	氏名：南 貴久	所属：人と防災未来センター		
	講師4	氏名：川原 耕一	所属：神戸市教育委員会教員研修所		
	講師5	氏名：	所属：		
	講師6	氏名：	所属：		
到達目標	小中高の理科・社会に関する内容を中心に、見学を取り入れ、水害・地震を中心とした都市災害に関する理解を深め、防災教育に活かすとともに、学校における危機管理対応について当事者意識を持つことを目的とする。				
講習目的・内容	地球温暖化により水害の危険度は増しており、周期的に起こる南海トラフ地震発生の切迫性も高まっている。本講習では、水害・地震など都市災害の基礎知識を講義で学ぶ。阪神・淡路大震災の経験と教訓を展示している人と防災未来センターで、語り部の解説のもと見学を行い、都市災害および防災教育に関する理解を深める。さらに、学校における危機管理対応について、想定災害事例をもとに自分事として捉える機会を提供する。 <input type="radio"/> 探究活動を含む <input type="checkbox"/> 省察を含む				
講習計画	【時間】		【内容】		
	10:00	～	10:10	オリエンテーション	
	10:10	～	11:00	講義1（水害） 河川のはん濫や市街地の浸水、土砂災害をもたらす豪雨から身を守るために使える、様々な「現代の百葉箱」について解説します。	
	11:10	～	12:00	講義2（地震） 地震と津波のメカニズムの解説から過去の災害事例と今後の備えを紹介。	
	13:00	～	13:50	講義3（都市防災） 地域ごとの災害リスク特性や災害別の対応の違いについて説明し、学校の避難訓練・防災教育への応用や地域連携の事例も紹介します。	
	14:00	～	15:15	見学1（人と防災未来センター） 人と防災未来センターの展示から、主体的対話的で深い学びにつなげます。	
	15:25	～	16:55	講義4（危機管理対応） 阪神・淡路大震災の教訓を、次の学校防災に生かすワークショップを行います。	
	16:55	～	17:00	アンケート	
		～			
	～				
受講者の方へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会場は飲食可能ですので、お弁当を持参頂けます。</li> <li>・各会場の空調につきまして、当日の気温等に応じて調整しておりますが、会場によっては、どうしても吹き出し口とその他の場所で温度差が出てまいります。講習当日は体温調節のしやすい服装でお越しください。</li> </ul>				
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講習は地域センター事業の一環として無償で行います。</li> </ul>				